



岐阜北週報

4月 母子の健康月間

□ 題 字	安藤 武司	□ 会 長	安藤 武司	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	小泉 宣昭	2016-2017
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	波多野光裕	No.1671
		会報委員長	白井 毅子	17.4.19発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1670 回 例会 4/12 (水) 献血例会 担当：社会奉仕委員会	第 1671 回 例会 4/19 (水) クラブアッセンブリー (5) 次年度事業計画の作成 100万\$ 担当：会長エレクト・次期幹事	第 1672 回 例会 4/26 (水) 卓話 (10) 岐阜南RCの会員増強について 卓話者：堀場 巖 元会長 100万\$ 担当：竹村・原尾 会員

会長挨拶



本日は、献血例会です。全国のロータリアンが年間を通じて様々な活動をされています。日本でも、輸血を必要とされる方が一日に3,000人(年間100万人)の患者が見えます。がん・白血病患者が輸血を必要とされる方が40%を占めています。血液は、科学が進んでも人工的に造ることが出来ませんし、長期的にも保存が出来ません。輸血により命をつなぐ人、笑顔を取り戻す人が大勢見えます。大災害など、万が一に備えて大量の血液が必要となります。採血基準も平成23年4月に改正され、400mlの献血年齢が、男性の場合17歳から出来るようになりました。献血後は水分の摂取により短時間で回復いたします。

当クラブの会員の方々に、献血が出来る方々の協力をお願いいたします。献血が出来ない方は、献血PRの為、街頭にてティッシュ配り等で一人でも多くの方に献血協力を、お願いして下さい。宜しくをお願いいたします。

会長挨拶 続き

<参考として>

1900年：オーストリア(ウィーン大学)ランドシュタイナー病理学者により、人は少なくとも三つの血液型(今日のA・B・O型に当たる)が存在することを発見され、翌年にAB型が追加された。

1940年：重要な血液型であるRh式血液型が同じグループにより発見。

1937年：USA(シカゴ・Cook County病院/ファンタス)血液銀行を設立。第二次世界大戦で多くの傷病兵の命が救われた。

1952年：日本赤十字社・血液銀行東京事業所の開設より血液事業が始まる。

出席報告

会員数：30名
 出席数：16/30名
 出席率：53.33%
 欠席者：14名(出席免除 8名 80.00%)

例会行事(敬称略)

【献血例会】

担当：社会奉仕委員会

会場：新岐阜献血ルーム

(名鉄岐阜駅前、岐阜駅5階)

- ・今回の献血者は、出席者16名中、波多野光裕会員、西垣 康紀会員、原尾 勝会員の3名でした。

献血例会 風景



次回例会のご案内

第1672回 例会 4月26日(水)
卓話(10) 岐阜南RCの会員増強について
卓話者: 堀場 巖 元会長 100万\$
担当者: 竹村・原尾 会員

会報・広報 4月担当 原尾 勝